

短期財源率（保険料率）が大幅に引き上がる見込み

以前より広報誌、ホームページを通じてお知らせしてきましたが、短期財政（医療に係る部分）は近年大変厳しいものとなっています。しかしながら、支出の増加に伴う財源率の引き上げについては、出来る限り皆様の負担を軽減する目的から余裕のあった積立金（剰余金）をまず活用することで引き上げを回避し運営してきました。

令和3年度では約8億5千万円の赤字、令和4年度では約6億8千万円の赤字見込となり、支出を賄うための必要な財源率にすると令和3年度で101.36%、令和4年度では97.90%となる中、現行財源率90%で2年間耐えた形となっています。

令和5年度においては、その積立金も底をつき、組合員並びに被扶養者の増加に伴う医療費等の支出が著しく増加することから、現行の財源率では賄うことが出来ず、現在の財源率から16.72%引き上げた106.72%となる見込みです。

今後も共済組合としては財政状況等について都度周知に努めるとともに、皆様におかれましても引き続き健康維持、増進を心掛けていただき、短期財政の安定運営にご理解いただきますようお願いいたします。